

第1回 生活体験発表会

交流会の目的

平成30年度は、生活体験学校の開設から30年を迎えます。30周年記念のイベントとして、子ども・保護者、ボランティア、職員による体験発表会を行います。これまで、生活体験学校に関わる方たちの、それぞれの体験を発表したり交流したりする機会はほとんどありませんでした。この際、子どもも保護者も、ボランティアも、職員も、それぞれの体験を発表し交流し合って、相互の実践の進展に役立てるため発表会を企画しました。

主催 NPO法人体験教育研究会ドングリ
日時 平成29年11月23日(木) 勤労感謝の日
会場 飯塚市庄内生活体験学校

日程と内容

13:00~13:10 開会行事
13:10~14:00 体験発表1
「生活体験学校で活躍するボランティア」
14:00~14:35 体験発表2
「子どもと保護者が語る生活体験学校」
14:35~15:20 実践発表
「現在の生活体験学校職員の活動状況報告」
15:20~15:40 理事長報告
15:40~15:50 閉会行事

理事長報告



NPO法人体験教育研究会ドングリ理事長

正平 辰男

生活体験学校の指定管理は一期5年です。その折り返し点を過ぎました。これからの生活体験学校はどのようなものであったら良いのか？今は、全国にたった一つしかない生活体験学校の未来像を描くことから始めなければならないと思います。

「生活体験学校で活躍するボランティア」

体験発表1

- ◆篠崎 和史(飯塚市役所)
生活体験学校ができる前のキャンプ場での通学キャンプから、現在もお通学合宿の指導を続ける。自分の自身の体験を発表します。
- ◆川上 延子(管理栄養士)
管理栄養士の立場から生活体験学校で実践した食育の内容を発表します。
- ◆渡邊 福(庄内子育て支援センター)
当センターが生活体験学校で活動した内容を発表します。

「子どもと保護者が語る生活体験学校」

体験発表2

- ◆甲斐 翔太・甲斐 亜希子
- ◆徳永 有希・徳永 康幸
通学合宿や生活体験合宿、子どもゆめ基金の助成活動の参加体験について、参加者が発表します。また、その保護者には、それぞれの参加体験の前後の様子について発表します。
- ◆飯塚市緑の少年団
生活体験学校で長年取り組んできたドングリの育苗・育林・伐採・椎茸栽培について緑の少年団交流集会で発表しました。その再演を行います。

「現在の生活体験学校職員の活動状況報告」

実践報告

- ◆福間 美紀 自らが通学キャンプの体験者であり、現在の合宿に参加する娘の母親でもある。
- ◆正平 高志 畑の土運びなど力仕事を専らにする。竹細工にこだわる。
- ◆津山 武咄 現職時代に10年間生活体験学校に勤めた。堆肥作りとシイタケ栽培にこだわる。
- ◆祝原 政弘 大工仕事、水道関連から溶接まで何でもこなす技術屋。
- ◆河中 利通 生活体験学校の野菜作りの全体を采配する。大工・電気工事の技術を持つ。
- ◆谷 忠広 現役の頃、福岡県教育庁職員として勤めた。
- ◆原 和也 ただ一人の常勤職員。行政直営の頃から生活体験学校に通算10年間勤める。

「氏名・所属・連絡先」を明記の上、FAXまたは、メールにてお申し込みください。(電話も可。)

申し込み先

NPO 法人体験教育研究会ドングリ

〒820-0111 福岡県飯塚市有安 958-1
TEL : 0948-82-3188 FAX : 0948-82-2780
E-mail : taiken.sch@oks.or.jp

ホームページはこちら

庄内生活体験学校 検索

<http://www.oks.or.jp/~taiken.sch/>